

伴東小学校 第2学年算数 シラバス

目 標

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方についての理解を深めるとともに、加法及び減法についての理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、長さや体積などの単位と測定について理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、三角形や四角形などの図形について理解できるようにし、図形についての感覚を豊かにする。
- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。

2年生ではこんな学習をします。

月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い
4	わかりやすくあらわそう (おぼえているかな)	2	●身の回りにある数量の特徴をとらえることに興味をもち、それらを分類整理して、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができるようにする。
	時計を生活に生かそう	3	●時刻と時間の概念、日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、それらを日常生活に用いることができるようにする。
	たし算のしかたを考えよう	10	●2位数の加法の筆算の仕方について理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いる能力を伸ばし、加法についての理解を深める。
5	(たし算の筆算) (おぼえているかな)		
	ひき算のしかたを考えよう	10	●2位数の減法の筆算の仕方について理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いる能力を伸ばし、減法についての理解を深める。
6	(どんな計算になるのかな)	2	●問題文を読み、どのような式になるかを考えて解決する。
	長さをはかろう (長さの たんい)	10	●長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、長さの測定ができるようにするとともに、長さについて量の感覚を身につけられるようにする。
	(おぼえているかな)	—	
	100より大きい数をしらべよう (3けたの 数)	13	●1000までの数について、その意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深めるとともに数を用いる能力を伸ばす。
7	水のかさをはかろう (水のかさの たんい)	8	●体積の測定などの活動を通して、長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し、体積の測定ができるようにするとともに、体積について量の感覚を身につけられるようにする。
	計算のしかたをくふうしよう (計算のくふう) (おぼえているかな)	4	●加法の結合法則、簡単な加減の法則の暗算の仕方を理解することを通して、加減計算についての理解を深め、それを用いる能力を伸ばす。
9	ひっ算のしかたを考えよう (たし算とひき算の筆算)	11	●既習の筆算を基に、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方について理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いる能力を伸ばす。
	形を調べよう (三角形と四角形)	9	●平面図形に親しみ、図形についての感覚を豊かにするとともに、三角形、四角形などの構成要素をとらえ、それらの意味や性質を理解する。
	分けた大きさをあらわそう (分数)	2	●分数を用いるものを半分や四半分にした大きさを表せることを知り、日常生活の中で分数を用いる能力を身につけられるようにする。
11	新しい計算を考えよう (かけ算①)	25	●乗法の意味について理解し、それを用いることができるようにする。
12	九九をつくろう (かけ算②)	17	●乗法の意味について理解を深め、それを用いることができるようにする。
1	1000より大きい数をしらべよう (4けたの数)	11	●10000までの数について、その意味や表し方を理解し、数の概念についての理解を深めるとともに、数を用いる能力をいっそう伸ばす。
	長さをはかろう (おぼえているかな)	9	●長いものの長さのそくていなどの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、長さの測定ができるようにするとともに、長さについての量の感覚を身につけられるようにする。
	図をつかって考えよう (たし算とひき算)	—	●加法と減法の相互関係について理解して、場面を式に表したり式を読み取ったりし、問題を解決する能力を伸ばす。

ねらいに到達しているかどうか主に次の観点と方法で評価します。

算数への関心・意欲・態度

数量や図形に関心をもち、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで活用しようとしているかを、授業での態度や発言、活動の様子、ノートやプリントの記述などから評価します。

数学的な考え方

日常の事象を数理的にとらえ、見通しをもち筋道立てて考え表現する力を、テストや発表の内容、ノートやプリントの記述内容などから評価します。

数量や図形についての技能

数量や図形についての数学的な表現や処理にかかわる技能を、テストやノート・プリント、活動の様子などから評価します。

数量や図形についての知識・理解

数量や図形について意味や性質などについて理解しているかを、テストやノート・プリント、活動の様子などから評価します。